

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 1 区分

【発行日】令和 3 年 8 月 12 日 (2021.8.12)

【公開番号】特開 2020-196649 (P2020-196649A)

【公開日】令和 2 年 12 月 10 日 (2020.12.10)

【年通号数】公開・登録公報 2020-050

【出願番号】特願 2019-104303 (P2019-104303)

【国際特許分類】

C 0 4 B 38/00 (2006.01)

A 6 1 F 2/28 (2006.01)

A 6 1 L 27/10 (2006.01)

A 6 1 L 27/56 (2006.01)

【F I】

C 0 4 B 38/00 3 0 3 Z

C 0 4 B 38/00 3 0 4 Z

A 6 1 F 2/28

A 6 1 L 27/10

A 6 1 L 27/56

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 6 月 29 日 (2021.6.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

気孔を有するセラミックスであり、  
前記気孔として開気孔と閉気孔を有し、  
前記開気孔として、孔径 20 ~ 600  $\mu\text{m}$  の範囲内にある大径の開気孔と、孔径 1 . 0  $\mu\text{m}$  以下の範囲内にある微小径の開気孔とをそれぞれ多数有し、  
前記セラミックスの全体に亘って、実質均一に前記大径の開気孔が分布し、  
前記気孔に占める前記開気孔の割合が 80 % 以上である、  
ことを特徴とする多孔質セラミックス。

【請求項 2】

気孔率が 40 ~ 90 % である、  
請求項 1 に記載の多孔質セラミックス。

【請求項 3】

前記気孔として、さらに孔径 1 . 0 超 ~ 10 . 0  $\mu\text{m}$  の範囲内にある小径の開気孔を多数有する、  
請求項 1 に記載の多孔質セラミックス。

【請求項 4】

セラミックス原料及び気泡助剤を混合して混合物を得る工程と、  
前記混合物に気泡剤を添加して気泡形成体を形成する工程と、  
前記気泡形成体を焼結して、開気孔を多数有するセラミックスを得る工程と、  
を有することを特徴とする多孔質セラミックスの製造方法。

【請求項 5】

前記混合物は前記セラミックス原料 100 質量部及び前記気泡助剤 1 ~ 200 質量部を

混合して得るものである、

請求項 4 に記載の多孔質セラミックスの製造方法。

【請求項 6】

前記気泡助剤が、セルロースナノファイバー、及び平均繊維幅  $0.5 \sim 50 \mu\text{m}$  のセルロース繊維の少なくともいずれか一方である、

請求項 4 に記載の多孔質セラミックスの製造方法。